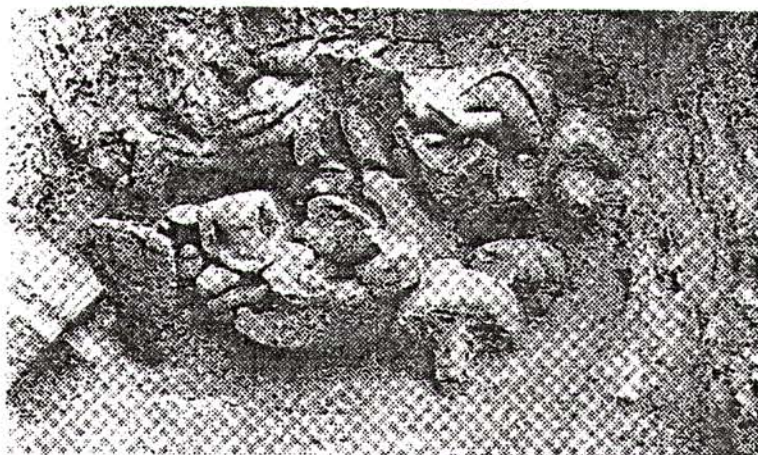


アンコール遺跡から大量の仏像発見

上智大調査隊の快挙

272体の廃仏発掘現場（2001年9月）、バン
テアイ・クデイ遺跡（12世紀末から13世紀
始めに建立）、アンコール遺跡



発掘現場で作業するカンボジア人研修生

今年の三月に一〇三体の
廃仏が発見された同じ場所
から八月に前回を上廻る
一六九体の廃仏が発掘さ
れ、さらに千体仏石柱も見
つかり、大発見としてNH
K・朝日新聞・読売新聞な
と発掘していた寺院で、仏
教を篤信して立王といわれ
るほど国内各地に大きな
教を信仰していたジャヤ
アルマン七世つかり、その
もので一・二メートルあ
り、三重の蛇神胴体の上
に座った座仏像で、小さ
い仏像は二〇センチほど
のものもあった。ほとん
どは首を切られ穴に投げ
捨てられていた。それ
に千体仏石柱（縦横四五
センチ、高さ百七
センチ）には二・五
センチの小座仏が一〇
八体彫られていた。

このような廃仏が、千体
仏石柱と共に見つかったの
はアンコール研究がはじま
って約一〇〇年たつが初め
てのことであり、アンコ
ール王朝末期の歴史を塗り
変えるほどの物的証拠とな
った。これらの廃仏像全
点は上智大学アン
コール研究所に保管
されている。